

議事内容

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 外部評価委員紹介</p> <p>3 対象部局あいさつ</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>●施策9 生涯学習推進の強化</p>
委員長	<p>○「事務事業の妥当性」について それでは、「事務事業の妥当性」について、質問させていただきます。 委員の皆さん、質問願います。</p>
委員	<p>事務事業評価シートに公民館運営審議会費とあるが、法的に載せなければなら ないものなのか。 また、他の事業と統合させて管理することが出来るのではないか。</p>
担当者	<p>公民館運営審議会は、社会教育法に規定のある事業であるため、事務事業評価 シートに記載している。なお、本審議会は必置の審議会ではない。 単独の事業として管理している理由は、4 公民館の運営経費を別々で管理して おり、4 公民館を統一的にみている審議会の運営経費を一つの公民館事業に統合 させることは、困難であるため、審議会費を別立てにしている。なお、今後、他 の事業との統合について、検討する余地はある。</p>
委員長	<p>審議会費の事業化について、統一的なルールはあるのか。</p>
事務局	<p>現在、各部局での判断としており、事業に組み込まれていたり、単独事業とし て別立てしている状況であり、統一はされていない。今後、検討していく必要が あると考える。</p>
委員	<p>市内企業や寺院などとのタイアップによる事業展開は考えているのか。</p>
担当者	<p>民間企業の出身者等を講師として招くことはあるが、タイアップまでは行って いない。現在、大学との連携を強めているところであり、今後は民間企業との連 携を強化していきたいと考えている。 また、市民が主体的に講座を計画し、実施していけるような環境づくりに努め ていきたいと考えている。</p>

委員	講座の集客人数が少なく、伸び悩んでいる課題があるが、講座の内容を充実させることで解決できないかと感じている。課題解決の方法は、どのようなものかを考えているか。
担当者	商工会等と連携を図り、講座の周知を強化するとともに、講座のニーズ等も含めて講座の内容を検討していきたい。
委員	市民大学の人気講座ベスト3位はどのようなものか。
担当者	順位は明確でないが、青山学院大学、埼玉大学、法政大学、目白大学、岐阜女子大学等の大学と連携する講座が人気である。
委員	少年自然の家管理運営事業について、事業費と人件費で約50,000千円かかっているが、この主な費用は何か。
担当者	平成24年から指定管理者制度を導入している。指定管理者への委託費の内訳として、スタッフの人件費と1,000千円以下の修繕費等が費用の多くを占める。 なお、事務事業評価シートに記されている人件費については、指定管理者を管理する市職員の人件費である。
委員	少年自然の家の耐久性はどの程度と考えているか。
担当者	平成23年に客室リニューアルと耐震強化をした。そのため、長期に渡り利用が可能だと考えている。 また、ファシリティマネジメントの中で、鉄筋コンクリートの建物は80年使うという方針があるので、最低でも40年以上は持続的に利用していきたいと考えている。
委員	少年自然の家管理運営事業について、平成25年度の目標値が339日に対して実績値が357日となっているが、達成できた要因は何か。
担当者	少年自然の家は、特に休館日がなく、修繕等の際に休館となる。そのため、職員のやりくりを工夫することで、目標値を達成できたと考えている。
委員	戸田市は、市民大学の拡充に力を入れているところであるが、市民大学を本当の大学のようにするビジョンはあるか。

担当者	<p>サテライト大学の開設の可能性について、600の大学に調査をしたが、大学側からの賛同は得ることができなかった。そのため、大学との連携講座を開くという形で進めていき、資格取得等に発展させることはできないかを考えている。</p>
委員	<p>総合振興計画上の主な取り組みの中に、③生涯学習体制の整備とある。しかし、施策の指標では、講座数や参加者数となっており、生涯学習体制の整備について図る指標がないが、生涯学習体制の整備状況については、どうなっているのか。</p> <p>また、施策の目的④の生涯学習施設の管理体制の検討の進捗状況はどのように評価すればいいのか。さらに、管理体制の検討とは、具体的に何を示すものなのか。</p>
担当者	<p>生涯学習体制の整備について、(仮称)生涯学習体制推進本部の設置を検討している段階である。</p> <p>生涯学習施設の管理体制については、指定管理者制度の導入検討のことであり、少年自然の家は指定管理者制度を導入している。しかし、少年自然の家以外に指定管理者制度の導入の動きはない状況である。</p>
委員長	<p>○「施策の進捗状況」について</p> <p>続いて、「施策の進捗状況」について、質問させていただきます。</p> <p>委員の皆さん、質問願います。</p>
委員	<p>年2回開催されている公民館運営審議会について、形骸化が懸念されるが、審議会の内容はどのようなものか。</p>
担当者	<p>各公民館で実施した事業の内容についての決算報告、来年度の予算、事業説明を実施している。また、講座への要望や工夫についての意見を聴取している。</p>
委員	<p>行政側の報告に終始している印象を受けたが、公民館運営審議会の中で、理念に基づいた活動の討議はされているのか。</p>
担当者	<p>公民館運営審議会の中で、各々の講座に対して討議をしている。しかし、委員から意見が出るのが少ないという状況である。今後は、委員が発言しやすい環境や委員の意見が反映されるような審議会づくりの検討をしていきたい。</p> <p>また、講座参加者の意向が反映されるよう努めており、このことについて審議してもらっている。</p>
委員	<p>施策評価シート上に施策の課題として、「残る3公民館の方向性を検討する」とあるが、残る3公民館の方向性はどのようなものか。</p>

担当者	<p>公民館という名の「建物」はなくとも「機能」が存在すればよいと考える。そのため、上戸田公民館については、上戸田地域交流センターに公民館機能を移行することとなっている。残る3公民館も建物の更新時期を見据えて上戸田地域交流センターを参考にしていきたい。</p>
委員	<p>事務事業評価シートにある実施主体について、公民館ごとに該当項目に違いがあるが、この差は何か。</p>
担当者	<p>事務事業評価シートに一部誤りがあったため、以下のように訂正させていただく。</p> <p>美笹公民館事業は、市による単独直営のみに訂正。</p> <p>下戸田公民館事業は、委託先企業を削除。協働協力は、ボランティアと訂正。</p> <p>新曽公民館事業は、委託を削除。協働協力はボランティアと訂正。</p>
委員長	<p>主な取り組みの実施体制の整備は、何年度までに整備する予定だったのか。</p> <p>また、市民大学運営委員会の設置はされているのか。</p>
担当者	<p>平成27年度を予定している。また、進んでいないというわけではなく、生涯学習に関係する各担当課と連携して、準備・調整を現在も進めている。しかし、運営委員会のようなものは、設置しておらず、平成27年度の設置を目指している。</p>
委員長	<p>○「資源の方向性」について</p> <p>続いて、「資源の方向性」について、質問させていただきます。</p> <p>委員の皆さん、質問願います。</p>
委員	<p>公民館機能が担保されれば、良いという考え方であったが、ファシリティマネジメントに基づき、建物がなくなっても差し支えないという考えでよろしいか。</p>
担当者	<p>これまでの公民館においても、福祉センターの一部を公民館が間借りする形だった。そのため、今後も公民館機能が失われなければ問題ないとする。</p>
委員長	<p>施策評価シートの今後の方向性で「維持」となっているが、新たな事業展開は考えていないという理解でよいのか。</p>
担当者	<p>公民館の運営については、現在より良いものにしたいということは当然に考えている。人員と予算についていえば、維持ということである。同じ人員、予算の中で、事業の質を高めていきたい。</p> <p>また、市民の協力を仰ぎながら、現状の取組について適宜見直しを図り、講座の再編を行っていきたい。</p>

委員	上戸田地域交流センターでは、男女共同参画の機能も備えたものであるとのことだが、男女共同参画と公民館事業が連携する取組の予定はあるか。
担当者	男女共同参画と公民化事業の連携等は、当然図っていく必要があると感じているが、具体的なところまで話が進んでいない。今後、検討していく必要があると考える。
事務局	上戸田地域交流センターの指定管理者による運営の中で、男女共同や生涯学習等と連携して講座運営が行われると考えている。
委員	生涯学習を取り巻く教育制度が大きく変わる中で、今後、教育委員会全体として、業務をシフトしなければならないものはあるのか。
担当者	教育委員会としては、今後より市長部局との連携を強めながら、こども青少年部と教育委員会が連携していき、教育委員会だけでは解決できない課題に取り組んでいきたい。
委員	市民大学の講座等に参加する市民は、参加する人しない人がはっきり分かれると予想されるが、そのことについて今後はどのように取り組んでいく予定か。
担当者	講座に参加する人、参加しない人がはっきりしているのが現状である。 講座のメニュー等を見直し、幅広い市民に参加してもらえるように工夫が必要だと考えている。市民大学に参加している人は、自然と他の分野にも顔を出すようになってきており、今後、生涯学習を通じて、まちづくりの担い手が育成されれば、よいと考える
委員長	以上で外部評価ヒアリングを終了とする。
事務局	5 閉会